

環 影 審 第 3 号
令和2年9月15日

埼玉県環境影響評価技術審議会会長 様

埼玉県環境影響評価技術審議会
小委員会委員長 藤原 周史（公印省略）

川口市戸塚環境センター施設整備事業環境影響評価準備書について（報告）

標記準備書について調査及び審議しましたので、別添のとおり報告します。

小委員会報告

当小委員会は、埼玉県環境影響評価技術審議会から付託された川口市戸塚環境センター施設整備事業環境影響評価準備書について調査及び審議したので、下記のとおり報告する。

記

1 小委員会委員（○は委員長）

- | | | |
|-----|-----|----------------------------|
| 岡 | 輝樹 | 委員（動物、生態系） |
| 恩田 | 敬子 | 委員（植物、自然とのふれあいの場） |
| 関口 | 和彦 | 委員（大気環境化学） |
| 関口 | 徹 | 委員（振動） |
| 礒島 | 智恵子 | 委員（環境化学） |
| 原 | 美登里 | 委員（水象）※都合により、小委員会2回に参加できず。 |
| ○藤原 | 周史 | 委員（廃棄物） |
| 吉村 | 純一 | 委員（騒音） |

2 調査及び審議経緯

- 令和2年3月6日に川口市から川口市戸塚環境センター施設整備事業環境影響評価準備書が提出された。
- 令和2年8月4日（火）に第1回小委員会を開催し、準備書に対する事業者説明及び委員からの質疑応答を行った。
- 令和2年9月2日（水）に第2回小委員会を開催し、小委員会意見を集約した。

3 小委員会意見

準備書に対する小委員会の意見は、別紙のとおりである。

川口市戸塚環境センター施設整備事業環境影響に係る 埼玉県環境影響評価技術審議会小委員会の意見について

川口市戸塚環境センター施設整備事業については、下記の事項を考慮して環境影響評価書を作成すること。

記

1 全般的事項

新施設建設に当たっては、環境保全対策に関する最善技術の導入を検討し、環境負荷の低減に努めること。

また、排ガス処理方式については、最終処分量など、環境負荷を総合的に検討した上で選定すること。

2 騒音・低周波音

新施設における騒音の発生源や調査結果における局所的な低周波音の発生の原因を把握し、周辺住宅等に及ぼす影響を低減するよう努めること。

3 振動

予測結果が規制値等を下回っている場合であっても、予測の不確実性を考慮し、車両の走行及び施設の稼働により周辺住宅等に及ぼす影響を低減するよう努めること。

4 自然とのふれあいの場

工事車両等の増加により、自然とのふれあいの場の利用者に影響を及ぼすことがないように努めること。

5 事後調査

排ガス処理設備が検討段階にあることを鑑み、微小粒子状物質（PM_{2.5}）の追加について検討すること。